

令和5年度 広陵小学校の学校経営

1 相模原市公立学校教育目標

～人間性豊かな子どもの育成～

- (1) 心と体をきたえ、たくましく生きる人になる。
- (2) 自ら学び、美を求め、個性豊かに生きる人になる。
- (3) 人や自然とのふれあいを大切にし、思いやりのある人になる。
- (4) みんなで考え、すすんで働き、よりよき社会をきずく人になる。
- (5) 緑と青空のまち相模原を愛し、広く世界に目を向ける人になる。

2 学校教育目標

共に学び 共に育つ

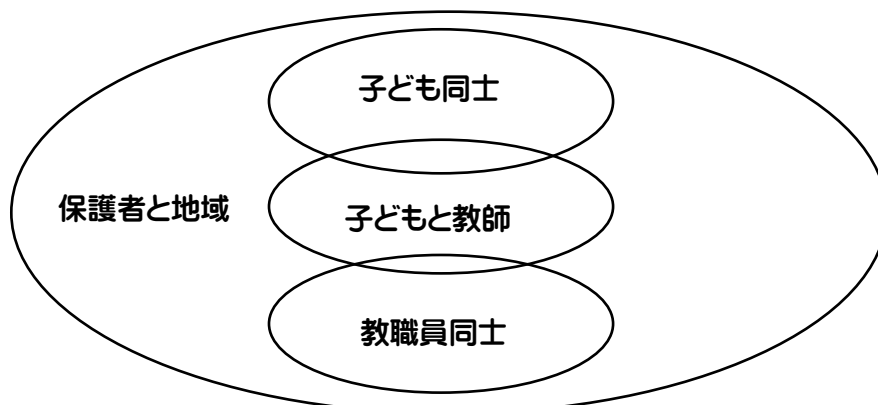
3 めざす児童像

- ・自ら学び 自ら考える子
- ・おだやかな心で 思いやりある子
- ・心身ともに健康で たくましい子
- ・仲間と協働して 集団をつくる子
- ・地域を愛し 未来へはばたく子

4 学校経営の方針

- ・「共に学び 共に育つ」を教育の根幹におき、豊かな関わりを通して、社会の形成者としての基礎的資質を育成する。
- ・学ぶ楽しさ、成長する喜びを感じることができる、魅力ある学校づくりを目指す。
- ・「全教職員で全児童を育てる」という共通認識のもと、児童の実態を見取り、良いところを価値づけて伸ばし、課題は共有して、全教職員で育てていく。
- ・キーワード「つなぐ」「つながり」
 - 教科、単元、学年間、子ども同士・保護者・地域
自然（もりっく）、体験と言語 幼保小中 等
- ・児童の健やかなる成長のために、保護者や地域との連携をより一層充実させていく。
- ・学校の教育目標の具現化を図るために、校内研究や校内研修を充実させる。

5 学校づくりのコンセプト ～共に学び 共に育つ～



【学校教育目標】

共に学び 共に育つ

めざす児童像

- 自ら学び 自ら考える子
- おだやかな心で 思いやりのある子
- 心身ともに 健康でたくましい子
- 仲間と協働して 集団をつくる子
- 地域を愛し 未来へはばたく子

【教育推進の重点】

学びの集団づくり
～確かな学力の定着～

- 基礎的・基本的な学力の定着を図る。
 - 朝学習、朝活動の充実
 - 基本的な学習習慣の確立
 - 個に応じた指導の工夫
 - MIMの活用
- 学びに向かう力を高めるために、校内研究の推進を図る。
 - 見通しと振り返りを大切にした授業づくり
 - トークタイムの充実（聞く・話す・反応する）
 - 学びあえる集団づくり
- 児童の興味・関心や主体性を重視した教育課程を展開する。
 - 地域の教育力や体験活動を通じた学びの重視
 - 学びの系統性を意識し、キャリア教育の視点を取り入れた学習指導

育ちの集団づくり
～豊かな心、社会性の育成～

- 人や自然との関わりの中で、自己肯定感の醸成を図る。
 - たてわり活動（行事、清掃、遊び）の充実
 - 「広陵もりっく」の有効活用
- 特別活動を通して、自主的・実践的な態度を育てる。
 - 異学年交流の推進
 - 学級活動、児童会活動等の充実
 - キャリア教育の推進
- 豊かな情操や人間関係づくりを推進する。
 - 道徳教育の推進
 - 言語環境の整備、読書活動の充実
 - 挨拶の励行
 - 校内環境の整備

全教職員で全児童を支援 支える集団づくり
～教師力向上のための協働～

- 教職員の共通理解と情報共有を密にし、適切に対応する。
 - 早期発見、迅速対応、再発防止、未然防止のサイクル
- 児童1人1人へきめ細やかに対応し、チーム支援体制の一層の充実を図る。
 - 個に応じた指導・支援の推進
 - サポートルームとの連携・協働
- 校内研究、校内研修の充実を図る。

保護者

- ・授業参観、懇談会
- ・個人面談
- ・PTA活動
- ・学校、学級、保健だより、HP等による情報発信
- ・家庭学習の習慣化

地域

- ・地域人材の活用
- ・外部講師、ボランティア
- ・学校評議員
- ・見守り隊、学童通学安全指導員
- ・自治会等

幼保小中

- ・スタートカリキュラム
- ・幼保との交流活動の推進
- ・小中一貫の日
- ・授業参観、交流、部活動見学等